



広島大学



大学院統合生命科学研究科・理学研究科 第17回 細胞生物学研究室セミナー

2021年1月25日（月）16:30～17:30

Zoomによるオンライン開催

ミーティングID：985 6454 7418

入室パスワード：728495

高橋 淑子 博士

京都大学大学院理学研究科 動物学教室 教授

腸の蠕動（ぜんどう）運動を支える細胞機能

胃で消化された内容物は腸に送られ、その後長い腸管内を少しずつ進んでいきます。このとき重要なのが腸の蠕動（ぜんどう）運動です。蠕動運動のしくみについては、マクロ生理学での研究は進んできましたが、細胞機能レベルではよくわかっておらず、多くの腸疾患でみられる蠕動不全の原因は未知のままです。私達は、摂餌前のニワトリ胚においてすでに蠕動運動が起こっていること、またこのとき局所的な腸収縮が振動波として規則正しく伝播されることを見出しました。最初は単に「一本の管」だった消化管から、一体どのようなしくみで規則的な振動波が生まれるのでしょうか？このとき鍵を握る細胞が、蠕動運動ペースメーカーと考えられている「カハール介在細胞」です。ライブイメージング解析によるカハール介在細胞の驚愕のコミュニケーション能力や、世界初の「腸収縮オーガノイド」からみえてきた収縮リズム発生機構など、最新データをご紹介します。

なおセミナーの前半部には、初期発生における血管リモデリングのお話も入れる予定です。

*** 本セミナーは統合生命科学研究科プログラム共同セミナーの対象です。**

学部学生・大学院生・教員、参加自由です。皆さまのご参加をお待ちしております。

連絡先：大学院統合生命科学研究科・理学研究科 細胞生物学研究室

千原崇裕（内線：7443）tchihara@hiroshima-u.ac.jp